

法政大学国際文化学部／2017年度／海外フィールドスクール環境コース／公開レクチャー&シンポジウム

Part 1

レクチャー／アートと環境研究のコラボレーションの新しい道を探る

2017年12月5日(火) 13:30-15:00 現代美術論特別公開講義 G201教室

今年度の海外フィールドスクール環境コースの実施大学であるPSU (Prince of Songkro University) から教員4名が来日、レクチャーとシンポジウムを行います。5日のレクチャーでは、タイの環境に関する科学的側面からの研究の現状を紹介し、さらに文化的側面も考察します。タイの環境研究と日本の環境研究のトピックの重なる部分と相違点を読み解きます。



Part 2

海外フィールドスクール実施報告／シンポジウム

2017年12月6日(水) 11:10-12:40 メディアと社会特別講義 S305教室

1. 成果発表／海外フィールドスクール参加学生
2. 東南アジア特にタイでの環境問題／法政大学国際文化学部／島野智之教授
3. タイの自然・経済の現状と環境問題について／Prince of Songkro University／Kitichate Sridith准教授、Sara Bumrungsri准教授、Nararak Leesakul准教授、Sopark Jantarit准教授
4. パネルディスカッション／タイと日本の環境問題の相違と共通点、また、日本の経済活動と東南アジアの環境問題との繋がりについて、海外フィールドスクールを通じての学生の理解や学習効果について議論します。海外フィールドスクールを通じた異文化理解どのようなものであったのか、またPSUのインターナショナルサマースクールでの実践事例についても報告します。